

★バックアップについての注意点★

自動バックアップ設定後も、正常にデータが保管されているか**定期的に必ず確認してください。**

設定後であっても様々な理由で突然バックアップが失敗していることもあるためです。

複数の場所や媒体に定期的に保管することを強くおすすめします！

特に同じ建屋内に保管されている場合は、万が一の災害時に全て消失する危険性もあります。

バックアップデータはどれだけあっても困ることはありません。

ハード障害・ウイルス・災害などの様々な要因によって消失する恐れがあります。

クラウドバックアップサービスは、お預かりしたデータを100%安全に保証するものではありません。

データの消失についても同様です。必ずローカル側のバックアップと併用してご利用下さい。

メインパソコンやサーバーのユーザーログオンのパスワードを変更した場合は、

バックアップ設定をやり直してください。パスワードが変更されるとバックアップに失敗し始めます。

～ローカルのデイリーバックアップ方法～

この自動バックアップは、24時間稼働しているサーバー機向けです。(デイリー、クラウドともに)SMSソフトが完全に停止している深夜に設定をすることを前提としています。

バックアップ設定作業は、メインのパソコン(データベースが入っているパソコン)で行って下さい。

★設定時刻は、デイリー → クラウドの順番で登録をするようにお願いします。

【重要】 下記設定後、初回バックアップ日時以降に「ログの表示」から「成功している」ことを必ず確認して下さい。失敗している場合は、サポートセンターまでご連絡ください。ログで成功がしていないと、バックアップが正常にとれていませんのでご注意ください。

バックアップは、パソコンが起動していることと弊社ソフトが終了していることが前提となります。データベースの入っているメインパソコンの電源を日々切られる場合は、上記の時間帯を設けてその時間帯に設定していただくようお願い致します。

メジャーバージョンアップをした際は、再設定が必要となります。ご注意ください。

(例)Ver7からVer8にアップデート

※再設定をししないとバックアップが正常にとれません。

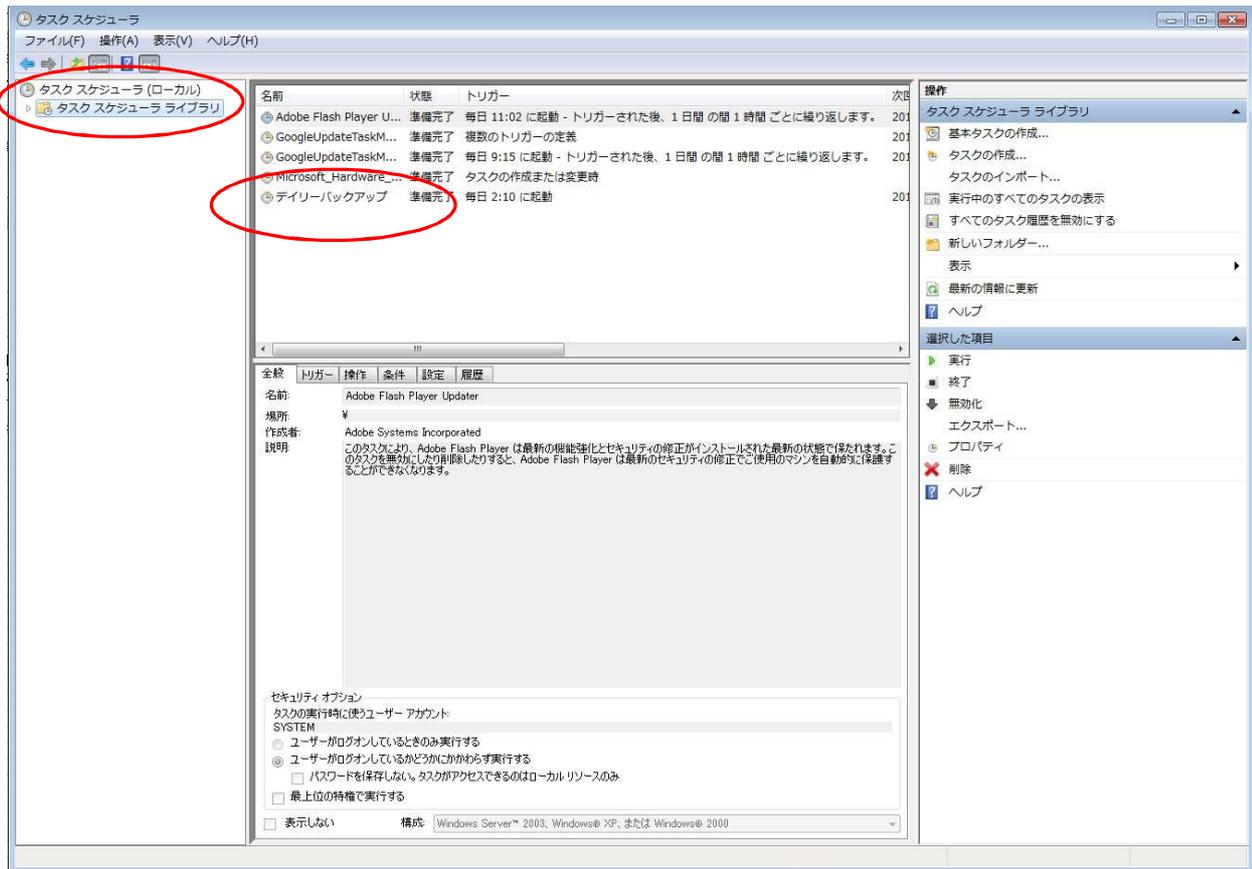
■ デイリーバックアップ設定方法(ローカル)

1. データベース管理ツール → デイリーバックアップのタブを表示します。
2. コピー先フォルダに、参照ボタン“…”を使って「保存先のフォルダ」を入力します。
3. SQLサーバー名は空白のまま進めてください。
※但し、SQLサーバー有償版をお使いの場合、インスタンス名を入力してください。
有償版でインスタンス名の登録をしていない場合は、「MSSQLSERVER」と入力して下さい
4. 終了フラグは「何もしない」、圧縮フラグは「圧縮しない」で進めてください。
5. 「保存」をクリックしてください。
6. スケジュールを「毎日」として、バックアップを実行する時刻を設定してください。
7. 「BAT作成」をクリックしてください。
8. 「スケジューラーに登録」をクリックしてください。

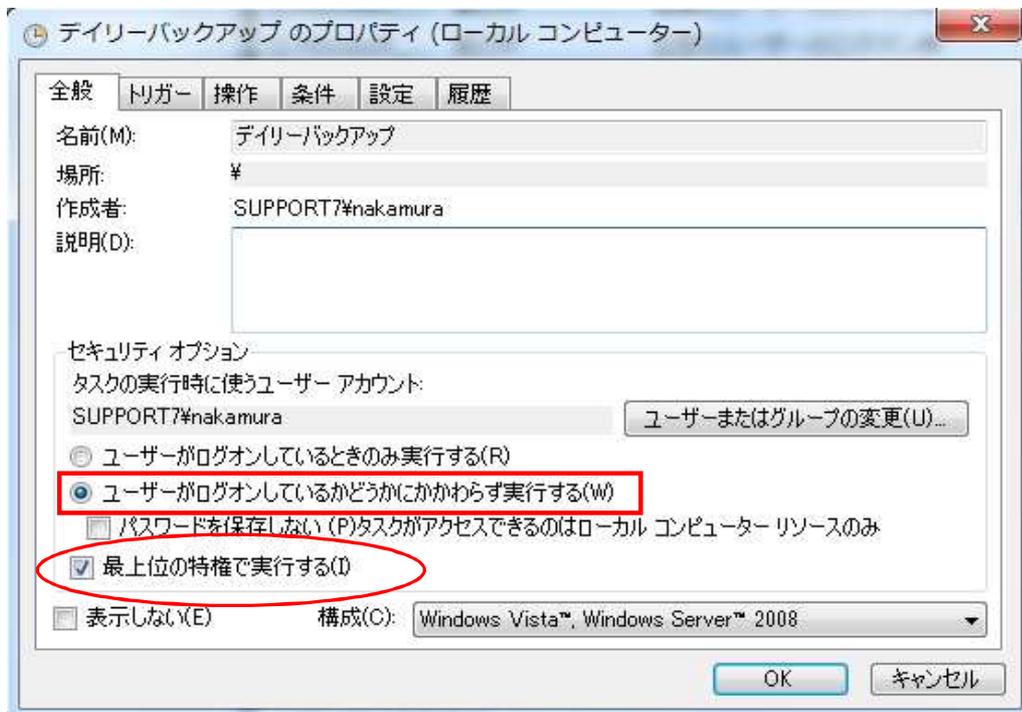


パソコン内ではなく、**外付けHD等**への保存をして下さい。(パソコンの故障等に備えるため)

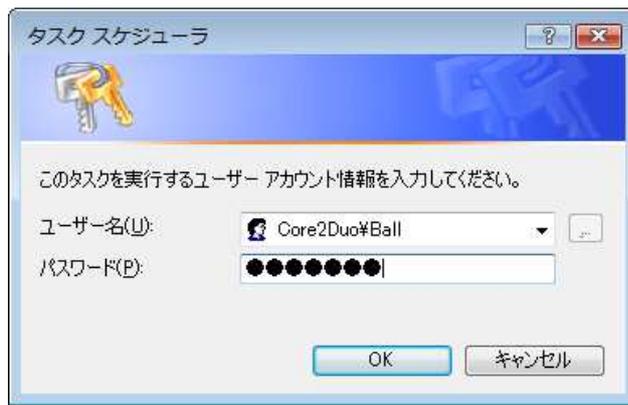
9. コントロールパネル → 管理ツール → タスクスケジューラ → **タスクスケジューラライブラリ**を選択
 10. デイリーバックアップで右クリックをして、**プロパティ**を開きます。



11. 「**最上位の特権で実行する(I)**」にチェックが入っているか確認し、もし入っていないければ
 チェックを入れて、**OK**をクリックします。
 「**ユーザーがログオンしているかどうかにかかわらず実行する(W)**」にチェックを入れる



12. アカウントパスワードを入力し、OKをクリックして完了。(不要な場合もあります)



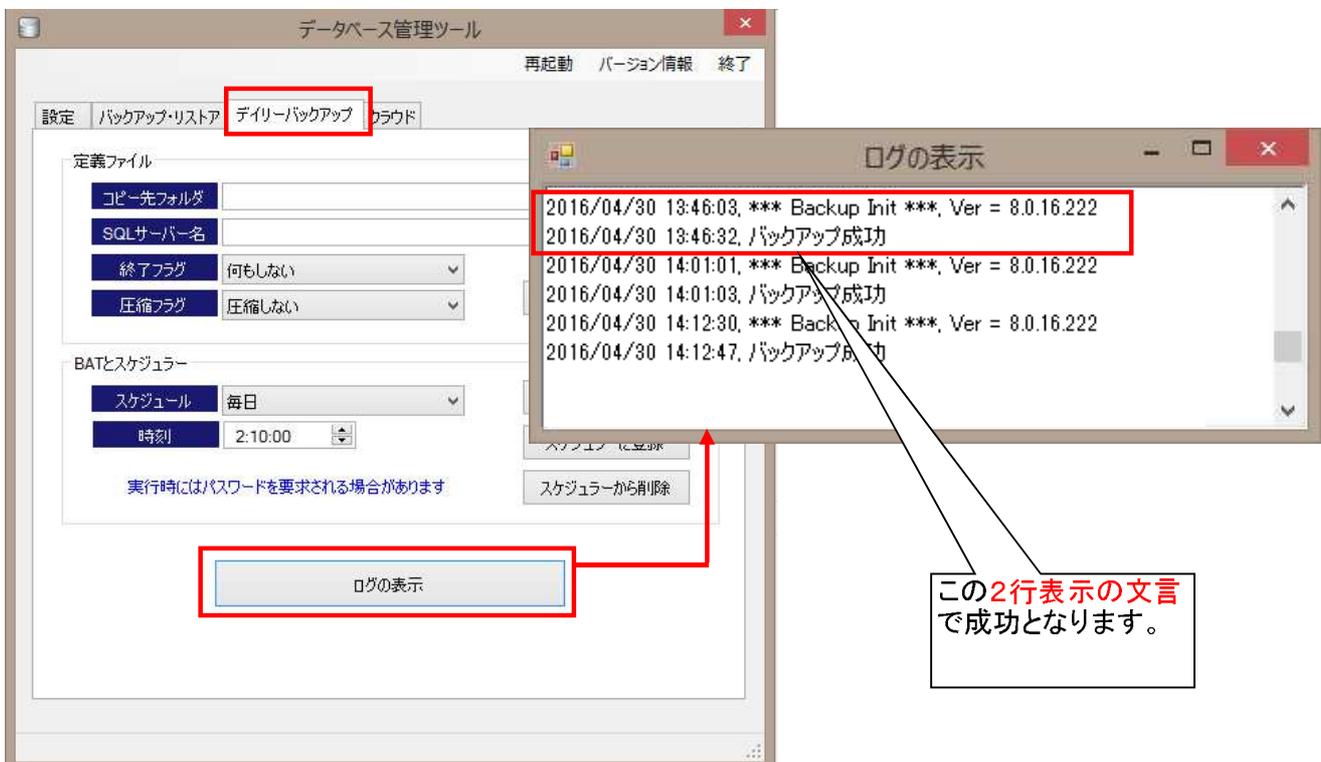
以上で、デイリーバックアップ(ローカル)設定は終了です。

初回のバックアップが成功しているかどうか必ずご確認ください。
その後の運用中も定期的にログを確認するようお願いいたします。
ソフト以外の予期せぬ事態で、ある時からバックアップが失敗し始めるということも起こるためです。

■ログの確認方法

上記設定後、初回バックアップ日時以降に「ログの表示」から「成功している」ことを必ず確認して下さい。失敗している場合は、サポートセンターまでご連絡ください。
ログで成功がしていないと、バックアップが正常にとれていませんのでご注意ください。

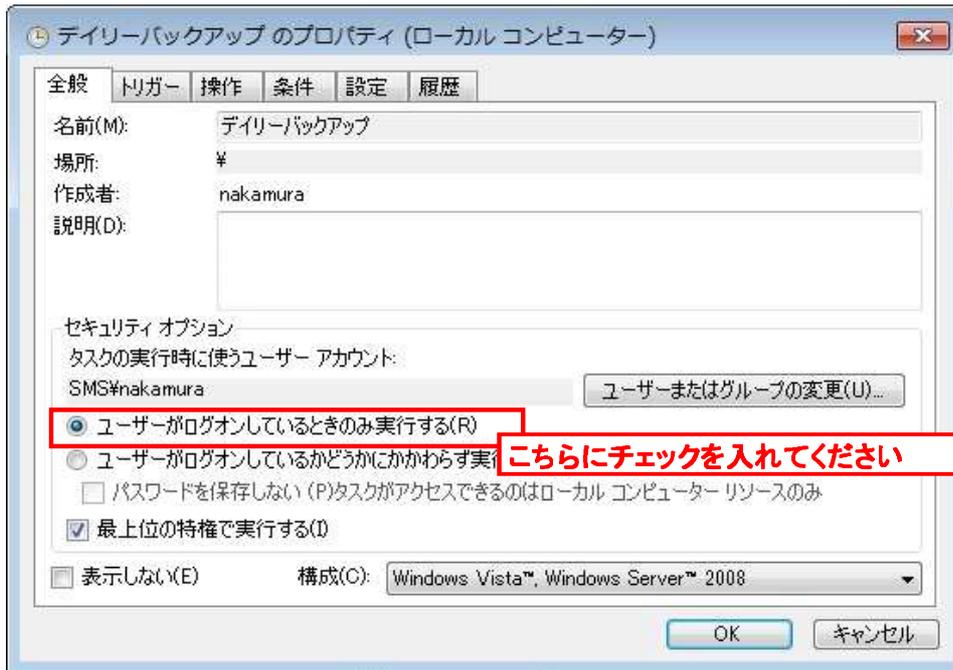
・デイリーバックアップ(ローカル)



■ デイリーバックアップが成功しない場合

サーバー機のログオン時のパスワードを設定していない時の対処方法

・Windows server 2008以降の場合



この設定で正常にバックアップがとれない場合は、サポートセンターまでご連絡ください。

■デイリーバックアップの設定について

1. 終了フラグ

1)何もしない

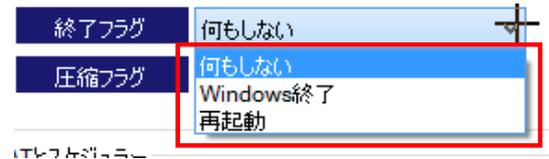
バックアップ終了後、何もしません。

2)Windows 終了

バックアップ終了後、パソコンの電源が自動的に切れます。

3)再起動

バックアップ終了後、パソコンが自動的に再起動されます。



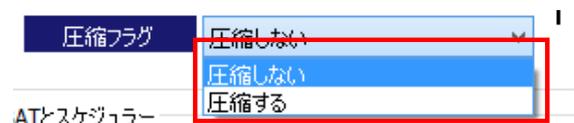
2. 圧縮フラグ

1)圧縮しない

バックアップデータを圧縮しません。

2)圧縮する

バックアップデータをzip圧縮します。



3. スケジュール設定

1)毎日

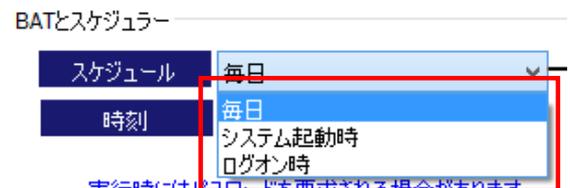
時間を指定して毎日バックアップされます。

2)システム起動時

メインパソコンの起動時にバックアップが動作します。

3)ログオン時

メインパソコンのユーザーがログオンされた時にバックアップが動作します。
これはおすすめしません。
パソコンの電源が入っていても、ログインの度にバックアップ処理が走ってしまいます。



～クラウドバックアップの仕方～

クラウドバックアップは、ローカルの「デイリーバックアップ」と併用してのみ使用可能です。

バックアップ設定作業は、メインのパソコン(データベースが入っているパソコン)で行って下さい。

★設定時刻は、デイリー → クラウドの順番で登録をするようにお願いします。

【重要】 下記設定後、初回バックアップ日時以降に「ログの表示」から「成功している」ことを必ず確認して下さい。失敗している場合は、サポートセンターまでご連絡ください。ログで成功がしていないと、バックアップが正常にとれていませんのでご注意ください。

バックアップは、パソコンが起動していることと弊社ソフトが終了していることが前提となります。データベースの入っているメインパソコンの電源を日々切られる場合は、上記の時間帯を設けてその時間帯に設定していただくようお願い致します。

メジャーバージョンアップをした際は、再設定が必要となります。ご注意ください。

(例) Ver7からVer8にアップデート

※再設定をしないとバックアップが正常にとれません。

■クラウドバックアップ設定方法

1. データベース管理ツール → クラウドのタブを表示します。

データベース管理ツール

再起動 バージョン情報 終了

設定 バックアップ・リストア デイリーバックアップ クラウド コマンド

認証

ID 7777

パスワード *****

確認

クラウドバックアップ

こちらはテスト用です スケジューラへの登録をお勧めします

アップロード

FTPリストの表示

ログの表示

クラウドダウンロード

曜日 月

ダウンロード

2. 認証の「ID」と「パスワード」を入力します。
(保守契約のユーザIDとパスワードになります)
3. 「確認」をクリックします。認証されますとバックアップ、ダウンロード機能が使用可能となります。

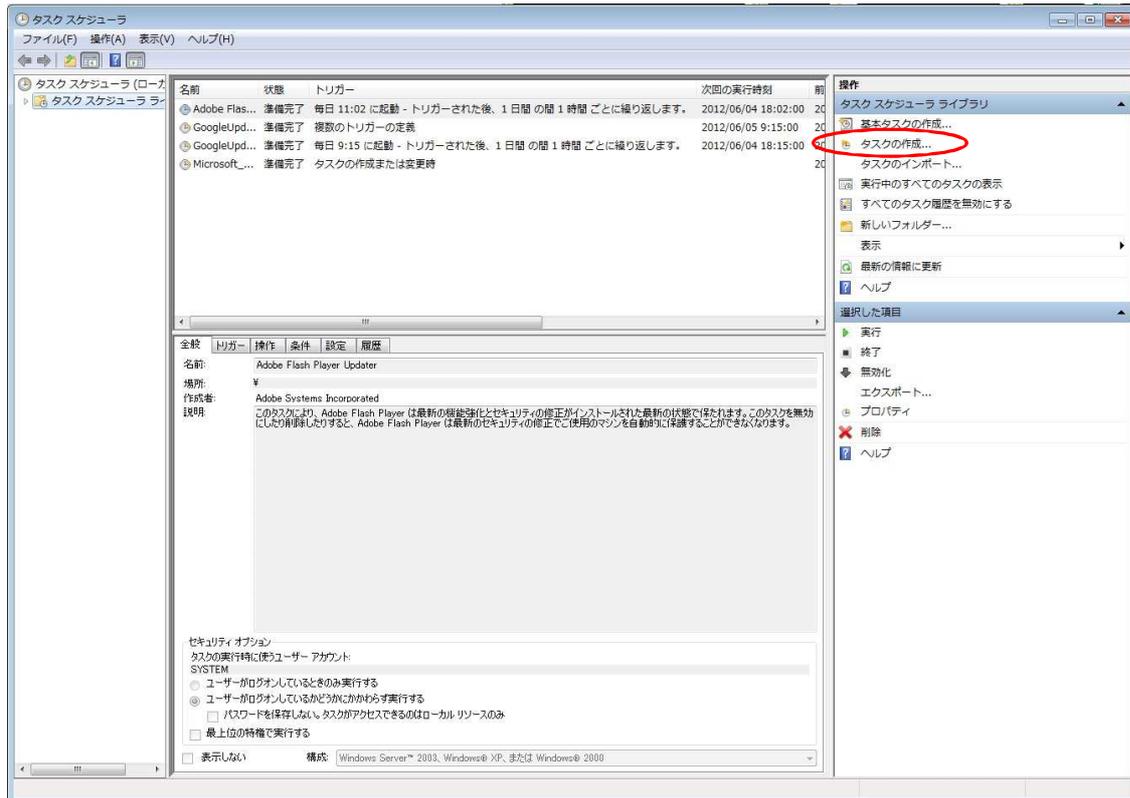
※この画面でも随時クラウドバックアップは可能(曜日毎で上書き保存されます)ですが
次のページのスケジューラ登録をお願い致します。定期的に自動バックアップする方法です。

* クラウドデータのダウンロード方法【万が一の復旧時のみご使用ください】

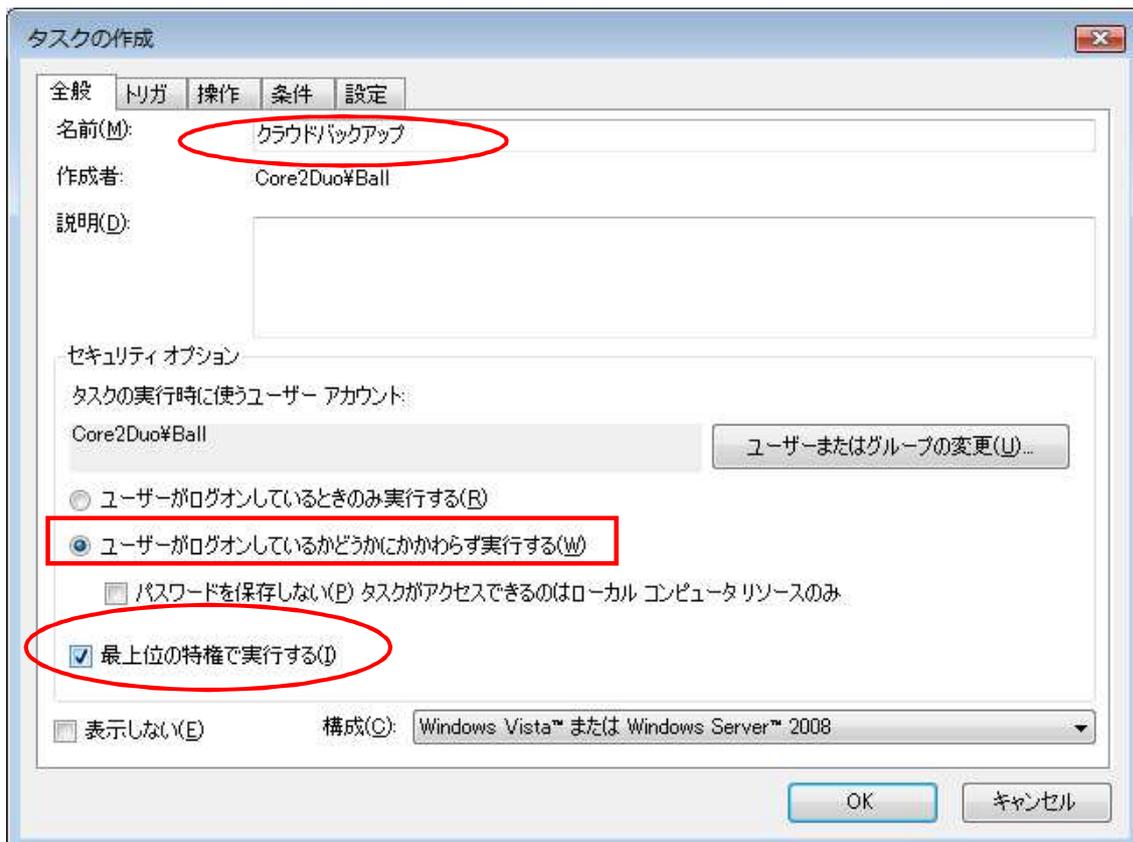
1. 曜日を選択して、ダウンロードをクリックしてください。
2. 保存先フォルダを指定してダウンロードします。
※ダウンロードだけではまだイチローにはデータが反映されません。3の作業へ。
3. ダウンロードしたデータをリストアする場合は、バックアップリストアのタブから操作をお願いします。

スケジューラ登録手順(クラウドバックアップ)

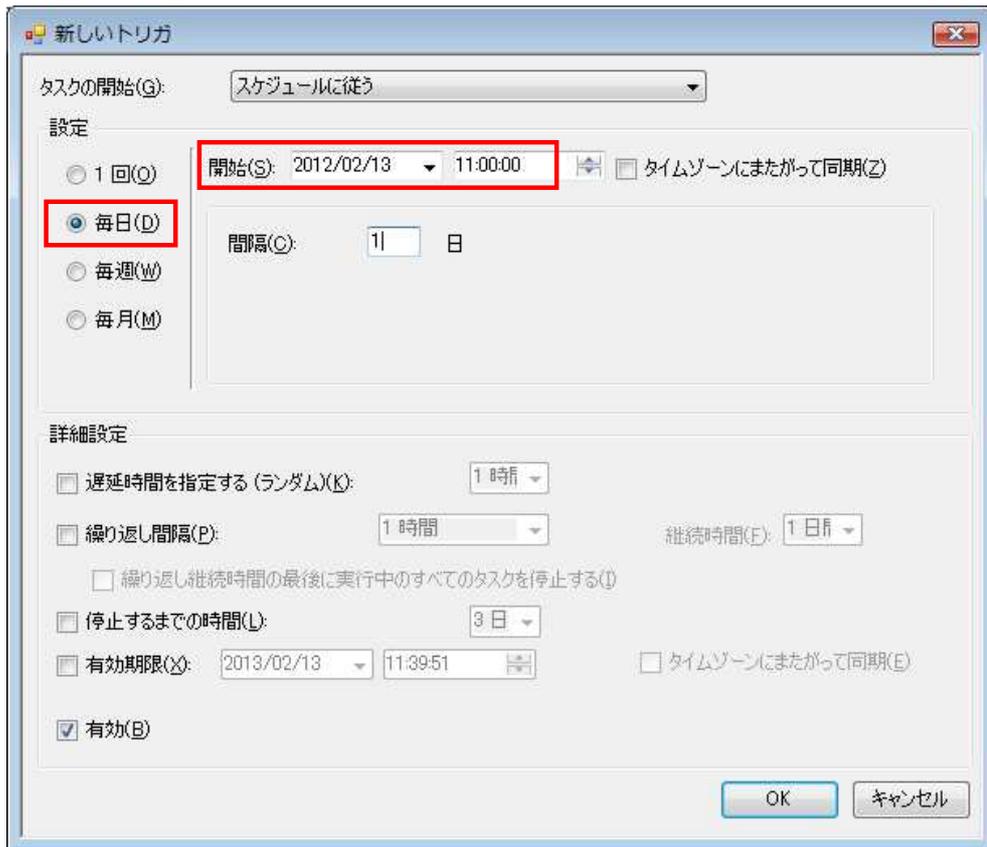
1. コントロールパネル → 管理ツール → タスクスケジューラ → **タスクの作成**をクリックします。



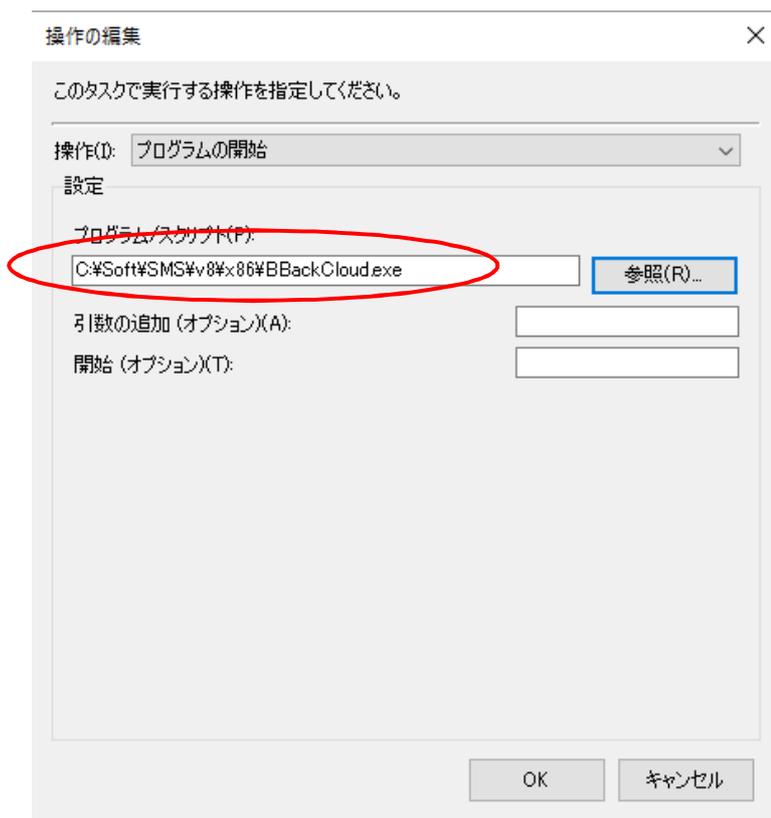
2. 全般のタブの名前(M)を「**クラウドバックアップ**」とします。
3. 「**最上位の特権で実行する(I)**」にチェックが入っているか確認し、もし入っていなければチェックを入れる。
「**ユーザーがログオンしているかどうかにかかわらず実行する(W)**」にチェックを入れる



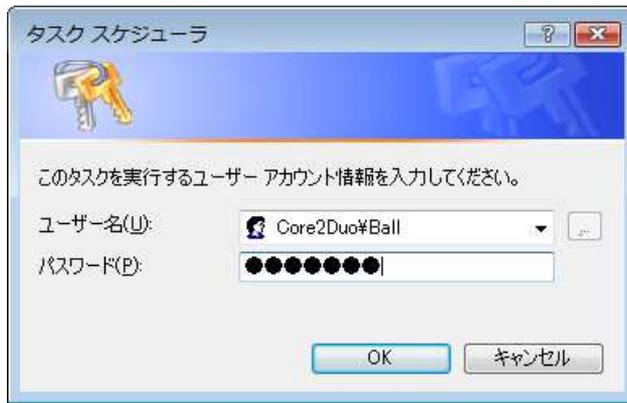
4. 3.の画面のトリガーのタブで左下の「新規(N)」を選択し、新しいトリガでスケジュール・開始時刻と「毎日」と設定し、OKをクリック。



5. 3.の画面の操作のタブで左下の「新規(N)」を選択し、設定のプログラム/スクリプト(P)で参照を使って「C:\Soft\SMS\v8*x64\BBackCloud.exe」を選択し、OKをクリック。
※32bitの場合は、「x64」の部分が「x86」です



6. アカウントパスワードを入力し、OKをクリックして完了。(不要な場合もあります)



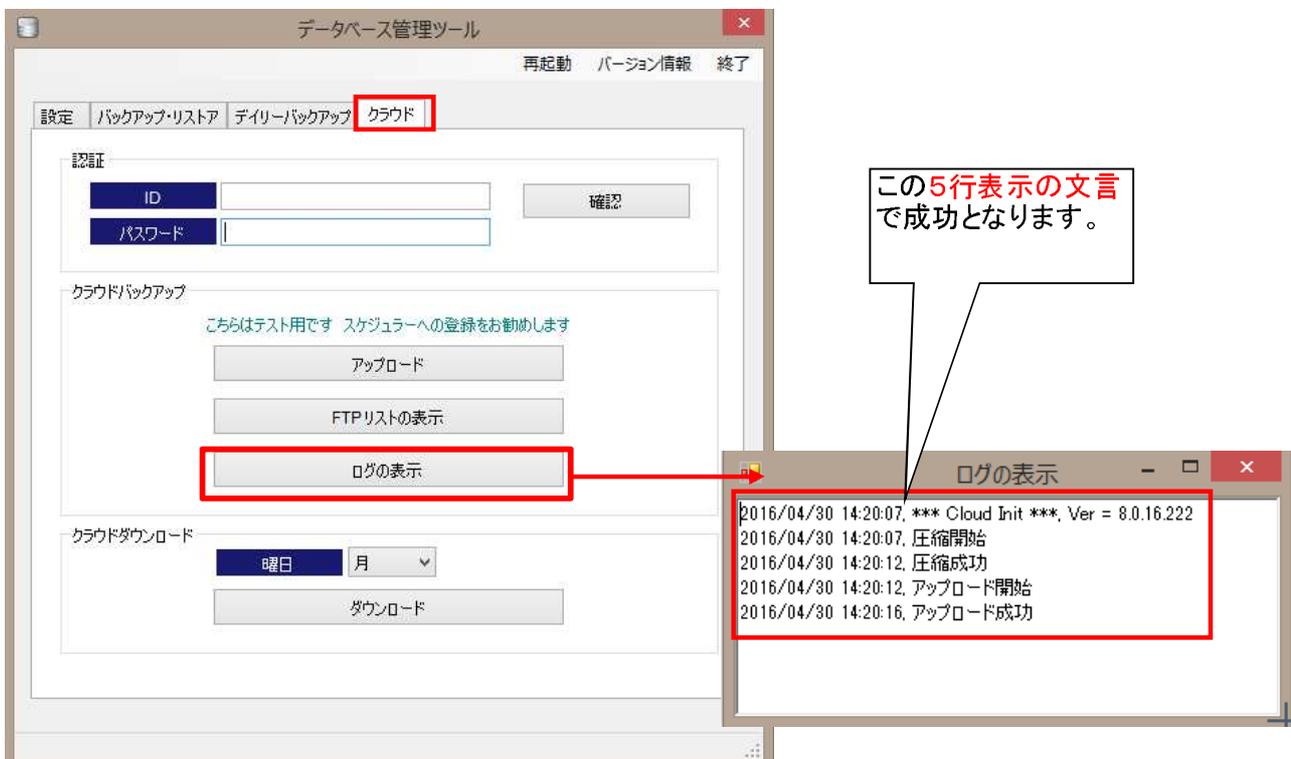
以上で、クラウドバックアップ設定は終了です。

初回のバックアップが成功しているかどうか必ずご確認ください。
その後の運用中も定期的にログを確認するようお願いします。
ソフト以外の予期せぬ事態で、ある時からバックアップが失敗し始めるということも起こるためです。

■ログの確認方法

上記設定後、初回バックアップ日時以降に「ログの表示」から「成功している」ことを必ず確認して下さい。失敗している場合は、サポートセンターまでご連絡ください。
ログで成功がしていないと、バックアップが正常にとれていませんのでご注意ください。

・クラウドバックアップ



この設定で正常にバックアップがとれない場合は、サポートセンターまでご連絡ください。

■メール送信設定

デイリーバックアップとクラウドバックアップの**処理が失敗した時**にメールでお知らせする機能です。

1. 各項目に情報を登録してください。

SMTPサーバ	メールソフトで設定している情報を登録
アカウント	メールソフトで設定している情報を登録
パスワード	メールソフトで設定している情報を登録
ポート	メールソフトで設定している情報を登録
送信元	送信元として設定したいアドレス(差出人) 存在しないアドレスでも大丈夫です
送信先	送信をしたいメールアドレス(宛先)

データベース管理ツール

再起動 バージョン情報 終了

設定 バックアップ・リストア デイリーバックアップ クラウド コマンド

メール送信 (デイリーやクラウドなど)

SMTPサーバ

アカウント

パスワード

ポート

送信元

送信先

SSLを使用 メールを送信する

保存 送信のテスト

2. メールを送信するのチェックボックスにチェックを入れてください。

3. 保存をクリックしてください。

4. 送信のテストをクリックして、正常にメールが受信できるかどうか確認して下さい。

正常に受信できれば設定完了です。

※正常にバックアップがとれた時はメールは届きません

※デイリーバックアップ、クラウドバックアップが正常に設定されていることが条件です。

片方だけの設定でもメール機能は使用できます。